

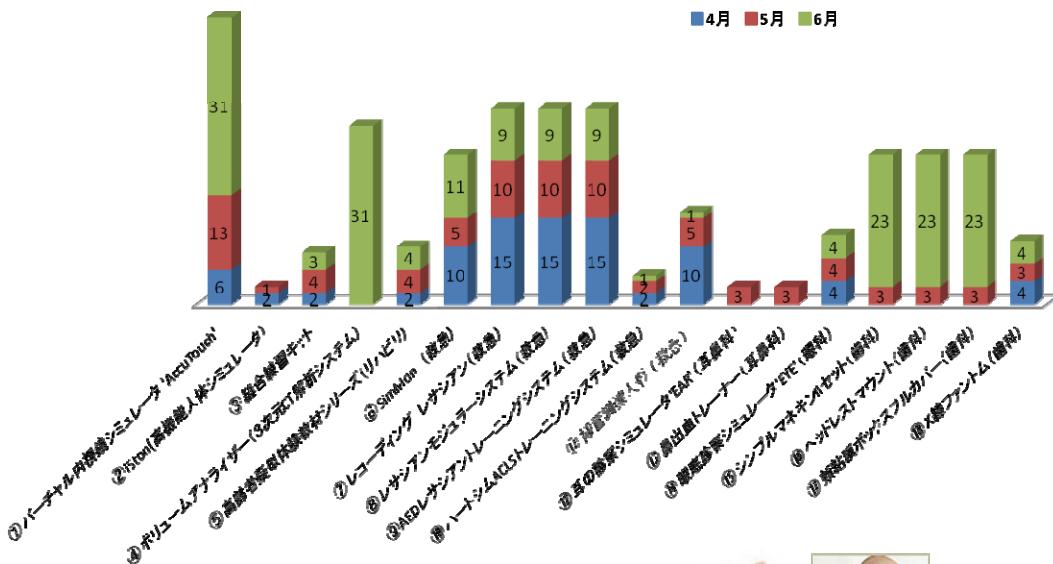
医療教育統合開発センター

News Vol.17

各種シミュレーター使用報告

医療教育統合開発センターでは各科の協力のもと、医学科実習や初期研修医の技術向上、医療安全向上のためにシミュレーターを使用していただいている。各種シミュレーターの使用頻度は以下の通りです。詳しくは医療教育統合開発センターホームページをご覧ください。<http://www.okayama-u.ac.jp/user/cdmhe/>

各種シミュレーター使用頻度



「2011年度岡山大学病院初期研修医ICLSコース」を開催しました

7月3日(日)、卒後臨床研修センターと共に「2011年度岡山大学病院初期研修医ICLSコース」を開催しました。受講者、インストラクター総勢62名の方にご参加いただきました。インストラクターの皆様ありがとうございました。



東日本大震災・医療支援の報告

岡山大学医療支援チームの一員として平成23年3月25日から31日までの一週間、岩手県陸前高田市、大船渡市を中心とした支援活動に参加しました。亜急性期での活動として、最初は仮設診療所での支援でした。被災地では医薬品供給は十分と言える状況にはありませんでしたが、医師・看護師・薬剤師の連携により、限られた医療資源を最大限に活用し、最善の医療を提供できました。県立大船渡病院の活動でも肺炎病棟を担当するなど「チーム岡大」は被災者のために十分貢献して参りました。



行事

9/17 Advanced OSCE

11/25-26予定 スタンフォード大学

専門医研修指導広島セミナー



第2回 レッツトライ コミュニケーション！ 市民フォーラム In 岡山

ゲームを通して、ごくかの医療に必要なコミュニケーションを
一緒に実践しよう！

[日時] 平成 23年 7月 2日(土) 13:00~16:30

[場所] 岡山県立保健センター 2階 大ホール



市民フォーラムを当センターが後援

7月2日(土)にNPO法人響き合いネットワーク・岡山SP研究会主催の「レッツトライコミュニケーション」と題する市民フォーラムが開催されました。当センターが後援をし、歯学教育部門の吉田が岡山SP研究会の代表である前田純子女史と共に講師として協力ゲームなどを実施しました。参加者と共に生活に必要なコミュニケーションを考えました。



『薬剤師のキャリアパスワークショップ』を開催しました

特別企画

「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドインスト教育プログラムの共同開発」

岡山大学薬学部 薬剤師キャリアパスワークショップ

主催:岡山大学薬学部

後援:岡山大学医学教育融合開発センター、岡山県薬剤師協会

薬学生年制教育の高度化・実践化が現実化するなか、多様な職域で指導的役割を担える「先導的薬剤師」の養成が望まれています。高年生教育においては医学部や付属病院等との連携強化により、薬学部のトランスレーショナルリサーチの発展とともに若手研究者の養成を目指します。本ワークショップは先導的薬剤師養成のためのアドインスト教育プログラム開発を目的とし、7月14日(木)に薬剤師キャリアパスワークショップを開催しました。

日 時 平成23年7月14日(木) 16:30~19:30
場 所 岡山大学創立50周年記念館2F会議室
研修単位 薬剤師研修センター認定研修2単位
(第2回のみ参加の方は1単位)

メインテーマ 「薬剤師が薬学研究で目指すもの」



岡山大学薬学部では高学年教育において医学部や付属病院等との連携強化により、薬学部のトランスレーショナルリサーチの発展とともに若手研究者の養成を目指します。本ワークショップは先導的薬剤師養成のためのアドインスト教育プログラム開発を目的とし、7月14日(木)に薬剤師キャリアパスワークショップを開催しました。



研修歯科医を対象とした医療面接を実施

平成23年度採用の44名の研修歯科医に対して6月28日から3日間かけて、個別に模擬患者さんとの初診時医療面接を行いました。各研修歯科医は模擬患者さんからフィードバックを受けました。現在各研修歯科医はビデオに撮られた自分と模擬患者さんとの医療面接を見ながら、良かったところや改善点などを分析し、今後の診療に役立てようとしています。

『海の日FD』を開催しました

今年も医学部医学科教務委員会と医歯薬学総合研究科学務委員会(医学系)との共催で、新任教員ら67名の参加のもと、7月16日(土)岡山県青年館で海の日FD(岡山大学医学部教員FDワークショップ)を開催しました。「平成24年度からの望ましい臨床実習前教育について」をテーマに「現状の基礎・臨床医学教育の問題点」や「望ましい基礎・臨床医学講義とは」について討議し、「平成24年度からの基礎・臨床医学教育カリキュラムの提案」について意見を発表し合いました。



シミュレーター使用状況①

● 'Accu Touch' (バーチャル内視鏡シミュレーター)



CGによるバーチャル内視鏡(消化器・気管支)トレーニングシステム。消化器内科・岡田裕之先生(光学医療診療部)、呼吸器内科・久本晃子先生、消化管外科・野間和広先生(医療教育統合開発センター)、呼吸器外科・山根正修先生、麻酔科・武田吉正先生(集中治療部)にご指導頂いて、医学科5年生、6年生の基本実習・選択実習や初期研修医

の実習に使用している。4月の使用実績は6回だったが、5月中旬のAccu Touch使用者研修実施後、5月は13回、6月は31回と使用者が増加中。

● 眼底診察シミュレーター 'EYE'

眼底部観察の理解を深め、診察手技を向上するシミュレーター。直像検眼鏡を使用し、オリジナル画像データにより「正常眼底」「単純型糖尿病網膜症」など計10症例の診断が可能。眼科・松尾俊彦先生が中心となって、医学科5年生、6年生の基本実習・選択実習の際、模擬眼を使用し、直像鏡の使い方説明を毎週実施している。年間約50回の利用を見込んでいる。



● 'SimMan'



多くのシナリオや実戦的なALS手技を実施可能な、等身大の患者シミュレーター。救急科・氏家良人先生を中心に医学科5年生のクリクラACLS実習や学生サークルOSALの練習で使用中。また、6月より「医学生と看護学生によるチームシミュレーショントレーニングver.1」を隔週医学科5年生、保健学科看護学専攻4年生を対象に開催中。指導は医学部医学科非常勤講師・万代康弘先生と医療教育統合開発センター・三好智子先生。

● シンプルマネキンIIセット

保存処置や補綴処置などの様々な分野の実習において、実際の場面を想定したより実践的な状況でのシミュレーションができるファントム。総合歯科・鈴木康司先生を中心に支台歯形成・インレー修復形成練習/歯科医師卒後臨床研修における診療終了後のトレーニングに使用している。6月の使用は23回。

